

報道関係各位

2011年1月20日
神戸アロマセラピー協会



「アロマセラピーリゾート都市神戸」を目指す地域活性型の新しいコンセプトの資格制度 「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」の発表のお知らせ

神戸アロマセラピー協会（事務所：神戸市東灘区 代表：石原慎一）は、神戸観光の魅力をアピールし、神戸のアロマセラピー関連産業の発展につながる、**新しいコンセプトの資格制度「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」**の発表をお知らせします。

記

「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」とは、神戸地区でのアロマセラピーについて豊富な知識と経験を持ち、お客様のニーズにあわせて、神戸での素敵なアロマセラピー体験のプランをお客様に提案、お客様に代わって、お店の予約から移動手段、空き時間の観光、食事まで全体をコーディネートできる人材です。また「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格は、その人材の能力・経験を認定する資格制度です。この資格は、観光客の方に、神戸地区でのお勧めのアロマセラピープランを提案される立場の方や、神戸のアロマセラピーの素晴らしさを伝えていきたいアロマセラピー関連の業務に従事されている方に適した資格です。

これまでこのような地域の活性化を目指したアロマセラピーの資格はなく、まったく新しいコンセプトの資格制度になります。（日本初の地域活性型のアロマセラピー関連資格）

○「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」に必要な知識と経験

- 1) 神戸観光全般に関する知識と経験
- 2) 神戸のアロマセラピー関連サービスに関する知識と経験
- 3) アロマセラピー全般に関する知識と経験
- 4) お客様のニーズを聞き出してお客様に最適なプランを提供する提案力

○「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格制度の開発の背景

従来、観光客の方が、神戸地区でアロマセラピーのサービスを希望されている場合、そのサービスはばらばらの状態で情報発信されているので、インターネットの検索エンジンなどで「神戸 アロマセラピー トリートメント」などのキーワードを入力することで得られた情報をもとに、お客様自らで、旅行プランを組み立てることが多いと思います。しかしお客様は神戸のアロマセラピーサービスについて詳しくないことが多く、また神戸の観光にも詳しくないかも知れません。その結果、神戸でのアロマセラピー体験は、お客様のニーズを満たしにくいサービスレベルの低いものに終わってしまう可能性が高くなっていました。そこで初めてアロマセラピー体験を神戸で希望される観光客の方にも、その人の希望にそった提案ができ、さらにアロマセラピーだけでなく、ジャズやスイーツ、港、居留地、北野などの地元の観光資源を組み合わせ、お客様にトータルで神戸を楽しんで頂けるような提案が可能なコンシェルジュの方がいればいいなと思ったことが「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格制度の開発の背景になります。

○資格制度の推進の効果

(1) アロマセラピーはゆったりとした滞在型の休日を通じたい旅行者に魅力的なサービスなので、神戸地区での滞在時間を増やし、神戸地区での宿泊の動機付けとなりうる。

(2) アロマセラピー体験と神戸の既存の魅力的な観光資源である、グルメ、クルージング、スイーツ、などと組み合わせることにより、より2～3日程度の宿泊付き旅行プランを提案することができる。

(3) アロマセラピーは世界的に知られており、国内だけでなく世界中やアジアからのお客様に神戸の素晴らしさをアピールできる

(4) 国内だけでなく海外も含め、現時点では、「アロマセラピー都市宣言」をしている都市はないのではないかとと思われるので、「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格制度の推進により、神戸がアロマセラピー都市のして世界初日本の都市になり、神戸がアロマセラピーのリーディングcityになれる。

(5) 神戸地区でアロマセラピー関連産業に従事する人材の育成や、従事する人のやる気、やりがいを向上させ、働く機会の増加が期待出来る。

(6) 医療、健康に関連する産業育成に力を入れている神戸市の神戸医療産業都市構想やヘルスケア産業の創造・育成（*1）などの推進等と連携を取りながら、神戸がメディカルツーリズムの推進地域として他地域と差別化を図るなどの相乗効果が期待できる。

(7) 神戸の既存の資格である「神戸学検定初級」を審査時の要件にすることで、同資格の資格保持者への「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格の存在アピールにつながると共に、「神戸学検定」の資格の保有価値向上につながり、「神戸学検定」資格保有者の資格保有満足度の向上が期待できる。

(8) 神戸で展開されていて実績のある「神戸コンシェルジュ運動」の活動の一環として神戸のおもてなし文化を発展させることができる。さらに神戸観光ボランティアやひょうご観光ボランティアなど、神戸の魅力をこれまで観光客の方に伝えていただいていた方々と活動連携を図る事ができれば、神戸の観光力アップにつながる。

○「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」に必要な知識と経験の審査方法（現在検討中の素案）

- 1) 神戸観光全般に関する知識と経験 → 既存資格の活用
既存資格で受験制限のない**オープンな資格である神戸商工会議所主催の資格「神戸学検定初級」**の資格を保有すること、あるいは他の資格で神戸アロマセラピー協会が認定する同等資格
- 2) 神戸のアロマセラピー関連サービスに関する知識と経験 → 体験レポート 審査
「神戸のアロマセラピー関連サービス体験に関する」レポートを10例提出その内容を神戸アロマセラピー協会
で審査
- 3) アロマセラピー全般に関する知識と経験 → 既存資格の活用
既存資格で受験制限のない**オープンな資格である「社団法人 日本アロマ環境協会」 主催の資格「アロマセラピー検定1級」**の資格を保有すること、あるいは他の資格で神戸アロマセラピー協会が認定する同等資格
- 4) お客様のニーズを理解しお客様に最適なプランを提供する提案力 → 体験プラン作成 審査
「神戸地区のアロマセラピーサービス」に関してシチュエーション別に10例「素敵な神戸地区のアロマセラピー体験プラン」を作成し、その内容を神戸アロマセラピー協会
で審査する。

なお神戸アロマセラピー協会では、2008年5月に神戸アロマセラピー協会のロゴ決定のプレスリリースをした際に、将来協会の認定する資格の資格者にロゴを利用してもらう予定と発表しており、今回の「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格制度 は、**神戸アロマセラピー協会ロゴの利用の具体的な活動事業の一環**です。

○「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」の資格をとるメリット

- 1) 資格保有者自身や保有する人材を採用している組織の神戸地区のアロマセラピーサービスに関する知識経験を**第三者に明示**できる
- 2) 神戸地域でアロマセラピーサービスの問題点、要改善点を理解し、今後のアロマセラピーサービス展開に活かせる
- 3) 資格保有者自ら、体験プラン作成をすることで、第三者に神戸地区での「アロマセラピーサービス」提案能力が向上する
- 4) 資格保有者自ら、体験レポートを書く事で、**実体験でのアロマセラピーサービスの経験を自分の言葉でお客様に伝える**ことができる
- 5) 例えば、ホテルのコンシェルジュとして働いている場合、自分の専門分野としてアロマセラピーを加えることができ専門性をアピールできる。
- 6) 「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」の資格保有者間で情報連携や情報共有することで、一人や一社だけでは解決、提案できない案件に対しても対応できる。
- 7) 社内での能力向上のプログラムに加えることで、アロマセラピーの関連サービスを提供する部門や、コンシェルジュの仕事に従事されている方の**仕事へのモチベーションをあげる**ことができる。
- 8) コンシェルジュとして仕事に従事されている方にとって、**コンシェルジュの社会的認知度をあげる**ことにつながる。また**神戸観光への意識を強め、仕事への自信**につながる。

○今後の予定と計画（神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ）資格制度準備室に関して）

上記「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格制度を実現していくにあたり、その準備室を設立する。その具体的な活動は以下の通り。**神戸アロマセラピー協会が中心**となって、**地元の大学の観光学部や観光学科、その他観光に関連する学校関係者、神戸市の広報関連部署、神戸商工会議所の関連部署、地元神戸のホテルのマーケティング部門やコンシェルジュ、神戸空港利用推進部署、地元のハーブ園、地元のマスメディア、地元の旅行代理店の方など**にご協力頂きながら「神戸♥アロマセラピー・コンシェルジュ」資格制度準備室を**2011年4月頃をめどに立ち上げる**予定。この準備室で資格制度のあり方や、検討課題を吟味していき、**2012年4月頃をめどに資格制度の開始**を目指す。

注）*1 神戸商工会議所 新産業創造 委員会 「ヘルスケア（保険・医療）産業の創造・育成に関する調査」（平成22年10月21日 発表）

「コンシェルジュ」とは

「コンシェルジュ」とは本来、フランス語で「重要な建物の門番」という意味。一般的にはホテルの宿泊客の「総合相談承り係」のような役割を担う人を指す。宿泊客のあらゆる要望に応える事をそのモットーとしており、「宿泊客の要望に対して、決してNOとは言わない」と言われている。また様々な分野で多様化する顧客ニーズへの対応が課題となっている為、同様の役割をコンシェルジュと呼び、様々な「コンシェルジュサービス」が確立されてきている。

参考資料：神戸アロマテラピー協会について

名称：神戸アロマテラピー協会 英語表記：Kobe Aromatherapy Consortium

公式ホームページ：<http://kobearoma.org/>

神戸アロマテラピー協会 公式ロゴ：



「ロゴの神戸のシンボルのひとつである「ポートタワー」と、アロマテラピーの精油を恵んでくれる植物の象徴として「葉っぱ」とを重ねています。神戸の「街・暮らす人々・おとずれる人々」が、潤い、やすらぎ、そして慈しみあうために、アロマテラピーがそのちいさな材料のひとつになったら・・・という想いをこめました。」

住所：658-0084神戸市東灘区甲南町4-3-13-101 TEL/FAX 078-414-2414 代表：有限会社
オールド・コーベ・カフェ 代表取締役 石原慎一

会員数：約10名（発足時） 設立日：2007年（平成19年）7月1日（2005年6月21日より設立準備）

協会の目的：

- 1) 神戸地区でのアロマテラピーの普及
- 2) アロマセラピストならびにアロマテラピー関連業種の仕事の従事する方が、神戸地区で働きやすくする基盤づくり
- 3) 神戸地区がアロマテラピーにおける世界的なリーディング都市になれるようにアロマテラピービジネスの発展振興に協力すること（神戸発のアロマテラピーのサービスや製品、企画などが地域団体商標登録された神戸ブランドの一翼を担える地域ブランドになるべく努力する）
- 4) 会員の相互扶助 等を目的とした非営利団体である。また各会員はボランティアベースとする。

これまでの活動実績：

2007年7月 神戸アロマテラピー協会設立

9月 神戸アロマテラピー協会ドメイン名取得

<http://KobeAroma.org/> ホームページ立ち上げ

11月 ビエンナーレ神戸の協賛イベント～天然素材による・あなただけの香水作り～開催

2008年5月 神戸アロマテラピー協会主催 第二回アロマテラピーイベント

～Jazzを聴きながらアロマハンドトリートメントを～ 開催

2008年5月 神戸アロマテラピー協会ロゴ決定および発表

2008年12月 神戸地区で企業様向けの天然香水イベント開催（約30名様参加）

2009年12月 国内初となる神戸市営地下鉄企画「海岸線各駅の香り・アロマ乗車券」への全面協力（企画・推進・技術評価・サンプル作成・神戸のアロマテラピーの現状報告・展開方法提案・「旧居留地・大丸前駅」「三宮・花時計前駅」での駅改札口周りでの芳香浴テスト等）

2010年7月 「ラベンダー生花を材料にした水蒸気蒸留会とラベンダーバンドルズ作り」イベント実施

2010年11月 「ラベンダーを使ったリース作り」イベント実施

■お問い合わせ 神戸アロマテラピー協会 代表 石原慎一 078-414-2414 以上